

## 令和3年度 芽室ジモト大学事業について

## 1. 趣旨

本事業は学校では学ぶことができないヒト、モノ、コトを中学生・高校生が地元の大人と共に学び、主体的に地域課題を「探究」することで、地域住民としての当事者意識を醸成し、将来の定住、地域の中核となる人材の育成や、まちづくりに若い世代の声を反映させることを目的に実施する。

中学生・高校生だけでなく大人も一緒に学べるジモト大学として、他地域のジモト大学と連携しながら事業を進めていく。

## 2. 事業の目的

- (1) 中学生・高校生が芽室町で活躍する大人と関わり、地域課題に関して関心を持ち、学びを深める探究心を育成する。
- (2) コミュニティ・スクールと連携した「郷育・夢育」の取り組みとし、地域コミュニティの活性化に繋げる。
- (3) 社会で活躍できる人材を目指して「社会人基礎力」と「郷土愛」を育成する。

## 3. 対象者

- (1) 町内の中学校・高等学校に在籍する生徒
- (2) 芽室町で活躍する大人、芽室町出身で活躍する大人

## 4. 具体例（案）

- (1) ゲートボール普及活動事業への参画

中学生・高校生の目線から自由な発想でゲートボール普及に関するアイデアなどを出してもらい意見交換会や体験会を実施する。

- (2) 町内菓子店との新商品開発

町内の菓子店と連携して、中学生・高校生が調査・企画を行い、町の農産物などを取り入れた新商品を開発する。中学生・高校生のアイデアや意見を目に見える商品化につなげる。

- (3) 芽室町サイクルツーリズム協議会とツアーの企画/立案/広報

町の観光の重要事業として取り組まれている『めむろ散走』について、中学生・高校生に参加してもらい、散走ツアーの企画などを一緒におこなう。町の観光資源や様々な地域の大人とかかわるきっかけとする。

#### (4) 大学生や社会人との意見交換会

中学生・高校生が将来の進路の情報を手に入れる機会は、ほとんどが学校やメディア、特にインターネット上からの情報が多くを占めていると思われる、大学生や社会人の生の声を聴くことができる機会は限られている。そこで、町出身の大学生や、各事業所の若い世代の社会人との交流の場を設け、地元企業に対する理解を通して、進学や就職に対する意識の醸成を図る。

### 5. スケジュール (予定)

5月～	生徒より本町をフィールドとしてチャレンジしたいことの案出し（講座として実施）
6月～	生徒からの意見をもとに講座の組み立て/講師の選定（案出しに参加した生徒と一緒に）
7月～	講座実施・振り返り・新たな講座の実施・運営の組織形成

大人たちもジモト大学で学び、  
ともに成長する場に



中学生・高校生の  
将来の選択肢を増やすきっかけ



地域の人と  
生徒たちの出会いに



大人たちが本気で  
実現に向けて動く



中学生・高校生が  
町でやりたいこと

